

## 登場人物の気持ちや特徴と曲想との関わりを感じ取ろう

本単元で育成する資質・能力

コミュニケーション能力  
論理的・建設的批判能力  
主体性・積極性

## 1 単元について

## (1) 生徒観

本学級は意欲的に授業に取り組むことのできる生徒が多く、ワークシートへの記入も自分の言葉で書くことができています。しかし、発表やグループワークで発言する生徒は偏っており、生徒同士で伝え合い、課題解決に向かっていく力の育成は今後の課題である。

4月、10月に行ったアンケートの「鑑賞（音楽を聴くこと）は好きですか」という問に対し、4月が87.5%、10月が81.3%の生徒が肯定的な回答であった。

鑑賞題材としては、5～6月に「四季より『春（夏、冬）』」と、7月に「ジョーズのテーマ」を行った。両題材とも、音楽を聴き様々な風景を思い浮かべることができるが、それがどの音楽を形づくっている要素と結びついているのかを自ら結びつけるには至っていない。

「音楽の授業で鑑賞するとき、感じとったことと音楽を形づくっている要素（音楽の材料）を結び付けて聴こうとしていますか？」という問について、肯定的な回答をしている生徒は81.3%であったが、「よく聴いている」と答えた生徒は13%と大変少なく、「やや聴いている」が68%と多い結果となった。理由として、音楽を形づくっている要素（音楽の材料）の概念が曖昧であることなどが考えられる。

## (2) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領（平成29年）の第1学年「B鑑賞」ア（ア）、イ（ア）を組み合わせた題材であり、「曲想と音楽の構造との関わりを理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴くこと」について扱うものとする。歌曲「魔王」は、シューベルトが18歳の時にゲーテの詩に出会い、詩に曲をつけるという形で作曲された。この曲は、ゲーテの詩の内容をそのまま音楽で表現したような曲であり、伴奏のリズムや強弱、旋律の高低や調の変化など音楽の特徴がわかりやすい。また、「語り手」「父」「子」「魔王」という4人の登場人物の対話形式で曲が進行し、登場人物の特徴や心情と音楽の特徴を関わらせて理解しやすい題材だと考える。聴取する登場人物をグループごとに割り当て焦点化することにより、登場人物の特徴や内面と、音楽を形づくっている要素を具体的に関わらせながら、シューベルトの作曲の工夫を自分の言葉で表現し、音楽のよさや美しさを味わう鑑賞の能力を高めたい。

### (3) 指導観

指導方法の工夫・改善として、次の2点を取り入れる。

#### 【①小集団での思考】

小集団に登場人物を一人ずつ割り当て、聴取する音楽を絞ることで、登場人物の特徴や心情と音楽を形づくっている要素との関わりを深く追及させたい。また、発表やグループワークで発言する生徒が偏っているという生徒観をふまえ、2、3人の集団にすることによって発言しなければならない状況を意図的に作り出し、全員が課題解決に向けて主体的に取り組めるようにする。

#### 【②ICT機器の活用】

タブレット端末に登場人物それぞれの旋律やピアノ伴奏の音源を入れ、それぞれの課題解決のために聴取したい部分を何度も聴きなおせるようにする。

## 2 題材の目標

「魔王」の音楽を形づくっている音色（声色）、旋律（音の高低、調性）、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽を形づくっている要素と曲想の関わりを感じ取り、詩と音楽が一体となっている「魔王」のよさや美しさを味わう。

## 3 単元の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
①「魔王」の音楽を形づくっている音色（声色）、旋律（音の高低、調性）、強弱と曲想の関わりに関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	①「魔王」の音楽を形づくっている音色（声色）、旋律（音の高低、調性）、強弱、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。  ②知覚・感受したことを根拠とし、登場人物の特徴や心情と関わらせて物語を表現するための作曲者の工夫を自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

## 4 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成したい能力は、①コミュニケーション能力 ②論理的・建設的批判能力 ③主体性・積極性 ④回復力・耐える力 ⑤自らへの自信 ⑥高い志 の6つである。

「登場人物の気持ちの変化を表す作曲の工夫を見つけよう」という課題解決に向けて生徒が主体的に取り組むことで③「主体性・積極性」を育成できると考える。また、小集団での思考の場を積極的に設け、知覚・感受したことと登場人物の特徴や心情との関わりについて、自分の考えを仲間と議論し思考を深めていく活動を通して①「コミュニケーション能力」と②「論理的・建設的批判能力」を育成できると考える。

5 単元の指導計画（全3時間）

次	学習内容	時 数	評 価			
			関	鑑	評価規準【評価方法】	資質・能力 の評価
1	<p>「魔王」の物語とシューベルトの音楽の感じをつかもう</p> <p>○役割演技をしたり，他の作曲家の魔王と比較しながら，「魔王」の内容とシューベルトの音楽の感じをつかみ，登場人物の心情の変化をグラフ化する。</p>	1	○		<p>ア. 比較鑑賞したり，日本語訳と関連付けながら，主体的に鑑賞の学習に取り組んでいる。</p> <p>【行動観察・ワークシート】</p>	<p>③ 主体性・積極性</p>
2	<p>登場人物の気持ちの変化を表す作曲の工夫を見つけよう</p> <p>○小集団に登場人物を割り当て，知覚・感受したことと登場人物の特徴や心情を関わらせて自分の言葉で説明する。</p> <p>【本時】</p>	1		○	<p>エ. 割り当てられた登場人物について，知覚・感受したことと登場人物の特徴・心情を関連付けて，仲間と協力しながら自分の言葉で説明している。</p> <p>【行動観察・心情グラフ・ワークシート】</p>	<p>① コミュニケーション能力</p> <p>② 論理的・建設的 批判能力</p>
3	<p>シューベルトの「魔王」の魅力を伝えよう</p> <p>○作詞者ゲーテに楽譜を送るも，認められず送り返されてしまったという史実を知り，シューベルト本人に「魔王」の魅力を伝える手紙を自分の言葉で書く。</p>	1		○	<p>エ. 登場人物の特徴や心情を表現するための作曲の工夫を挙げ，シューベルトの「魔王」のよさについて自分の言葉で書いている。</p> <p>【ワークシート】</p>	<p>③ 主体性・積極性</p>

## 6 本時の学習指導について

(1) 題材名 鑑賞：「登場人物の心情や特徴と曲想との関わり」（教材：魔王 シューベルト作曲）

(2) 本時の目標

登場人物の心情の変化と音楽の変化の関連から作曲の工夫を見つけ、自分の言葉で説明することができる。

(3) 本時の評価規準

割り当てられた登場人物について、知覚・感受したことと登場人物の特徴・心情を関連付けて、仲間と協力しながら自分の言葉で説明している。【行動観察・心情グラフ・ワークシート・発言】

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆支援を必要とする生徒への 手立て)	評価規準【観点】 (評価方法)	資質・ 能力の 評価
導 入	1. 前時に用いた登場人物の心情 グラフを見て物語の内容を思 い出す。			
	2. 目標を確認する。			
登場人物の気持ちの変化を表す作曲の工夫を見つけよう				
展 開	3. 魔王、子、父のグループに分 かれ、物語が進むにつれてどん な感じがするか（付箋：ピン ク）、音楽にどのような変化が あるか（付箋：黄色）を聴き取 り、付箋に書く。	◇タブレットにそれぞれの登場 人物の音源（ドイツ語 ver.）を 入れておき、繰り返し聴いたり 比較できるようにする。 ◆行き詰っているグループには 適宜口頭でヒントを与え、聴く 視点を持たせる。	心情グラフを基 に感じとったこ とや聴き取った 音楽の変化を交 流しながら自分 の言葉で書けて いるか。【エ①】 (心情グラフの 付箋, 発言)	①コミ ュニケ ーショ ン能力
	<b>A【魔王】</b> 目標：魔王の気持ち（心情）の変化を表現するための作曲の工夫を見つけよう。 ヒント①：魔王の旋律①②③を比べてどんな音楽の雰囲気や歌い方の変化があるか？ ヒント②：魔王の旋律③の変化したところの音の高さはどうなっている？ ヒント③：作曲の工夫は歌だけか？（ピアノ伴奏への着目）			
	<b>B【父】</b> 目標：父の（特徴と）気持ち（心情）を表現するための作曲の工夫を探ろう。 ヒント①：父①～④に共通していることは何？ ヒント②：子と比べた時の父の特徴は何？ ヒント③：父の旋律の音楽の雰囲気はすべて同じなのか？			

展開	<b>C【子】</b> 目標：子の（特徴と）気持ち（心情）を表現するための作曲の工夫を探ろう。 ヒント①：①②③④と進んでいくにつれて、どんな音楽の変化があるか？ （ヒント②：父と比べた時の子供の特徴は何？）			
	グループ① A：魔王①：三木，松枝，古川紗    A：魔王②：菊谷，橋本，古川茉 B：父①：郷田，森脇                    B：父②：小野松，岡田冨 C：子①：川野，河野，片山        C：子②：沖田，野田，岡田芽			
	4. 同じ登場人物同士で聴きとった2つのグループでメンバーを入れ替え、感じたことや音楽の変化を交流し、音楽の変化と心情の変化の関わりから考えた作曲の工夫について発表準備をする。	◆次の活動を予告しておき、生徒間での交流の機会をより多くすることで、次の活動での発表をしやすくする。	自分の考えを発表し、他者の考えを聴いて考えを深められているか。【エ①】(行動観察・心情グラフの付箋・発言)	①コミュニケーション能力
	グループ② A：魔王①：三木，橋本，古川紗    A：魔王②：菊谷，松枝，古川茉 B：父①：郷田，岡田冨                B：父②：小野松，森脇 C：子①：沖田，河野，片山        C：子②：川野，野田，岡田芽			
	5. 自分が聴きとった登場人物の心情変化と音楽変化の関わりから考えた作曲の工夫を、異なる登場人物を聴きとった人に向けてグループ内で発表する。	◇グラフを見せる（心情の変化）→物語が進むにつれて○○な感じがした→それは△△だからであり（音楽の変化），（登場人物）の□□という心情を表現している（作曲の工夫），というように発表のテンプレートを示しておき，発表後，聴いて確かめる時間を確保する。	心情グラフと感じとったことや聴き取った音楽の工夫を関連付けて自分の言葉で説明できているか。【エ①，エ②】(行動観察・発言)	②論理的・建設的批判能力
	グループ③ ①：三木（魔王），古川茉（魔王），岡田冨（父），片山（子） ②：松枝（魔王），小野松（父），川野（子），河野（子） ③：菊谷（魔王），古川紗（魔王），郷田（父），岡田芽（子） ④：橋本（魔王），森脇（父），野田（子），沖田（子）			
6. 魔王，父，子の心情変化と音楽の変化の関わりから考えた作曲の工夫について登場人物につき代表者一人発表する。	◇発表後，聴いて確かめる時間を確保する。			

展開	<p>7. グループ③で全員のグラフを重ね、曲全体の盛り上がりや緊張感がどのようにになっているかを考えながらドイツ語 ver.を通して聴く。</p> <p>→登場人物の心情を表現するために作曲家は様々な工夫をしており、それをつなげて聴くと、物語全体の緊張感もそれぞれの登場人物と同じように高まっている。</p>			
まとめ	<p>8. 登場人物の心情の変化と音楽の変化の関わりから考える作曲の工夫について一番すごいと思ったものを書く。</p>		<p>登場人物の心情と音楽の変化の関わりから考えた作曲の工夫について自分の言葉で書くことができるか。</p> <p><b>【ア①，エ②】</b> (ワークシート)</p>	

